

# スペース写真掲載マニュアル

Photo Manual for space owner

 SHOPCOUNTER





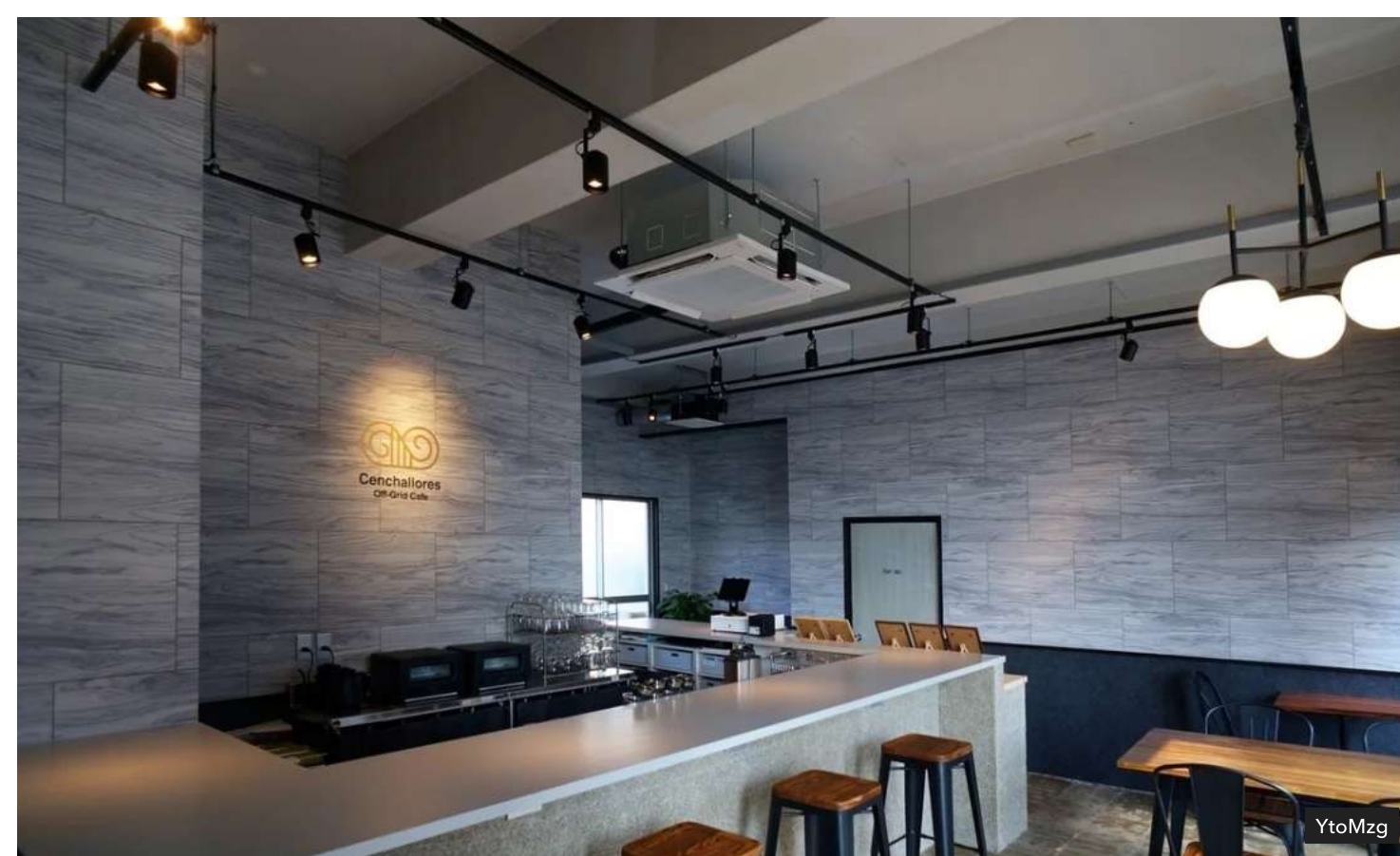
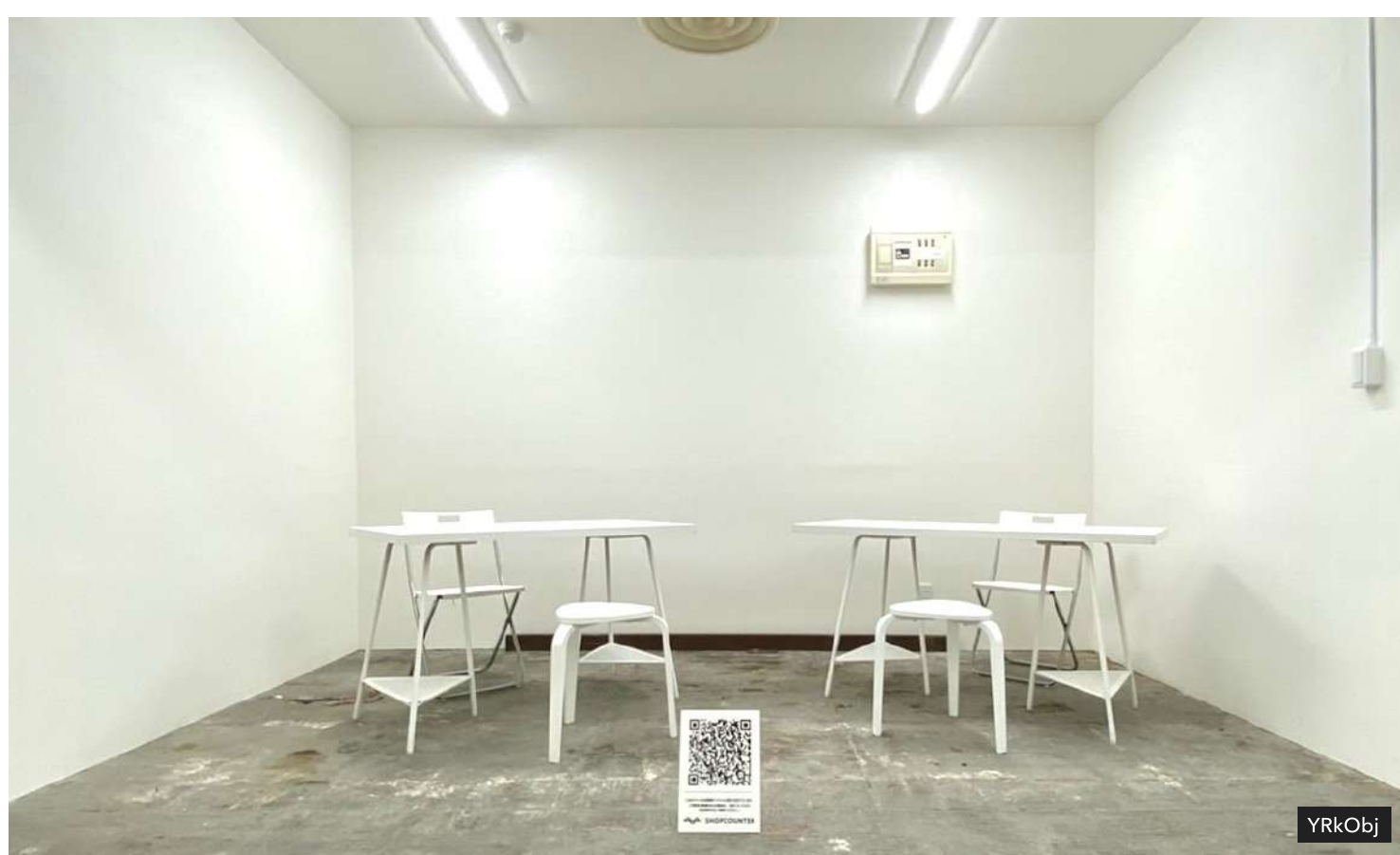
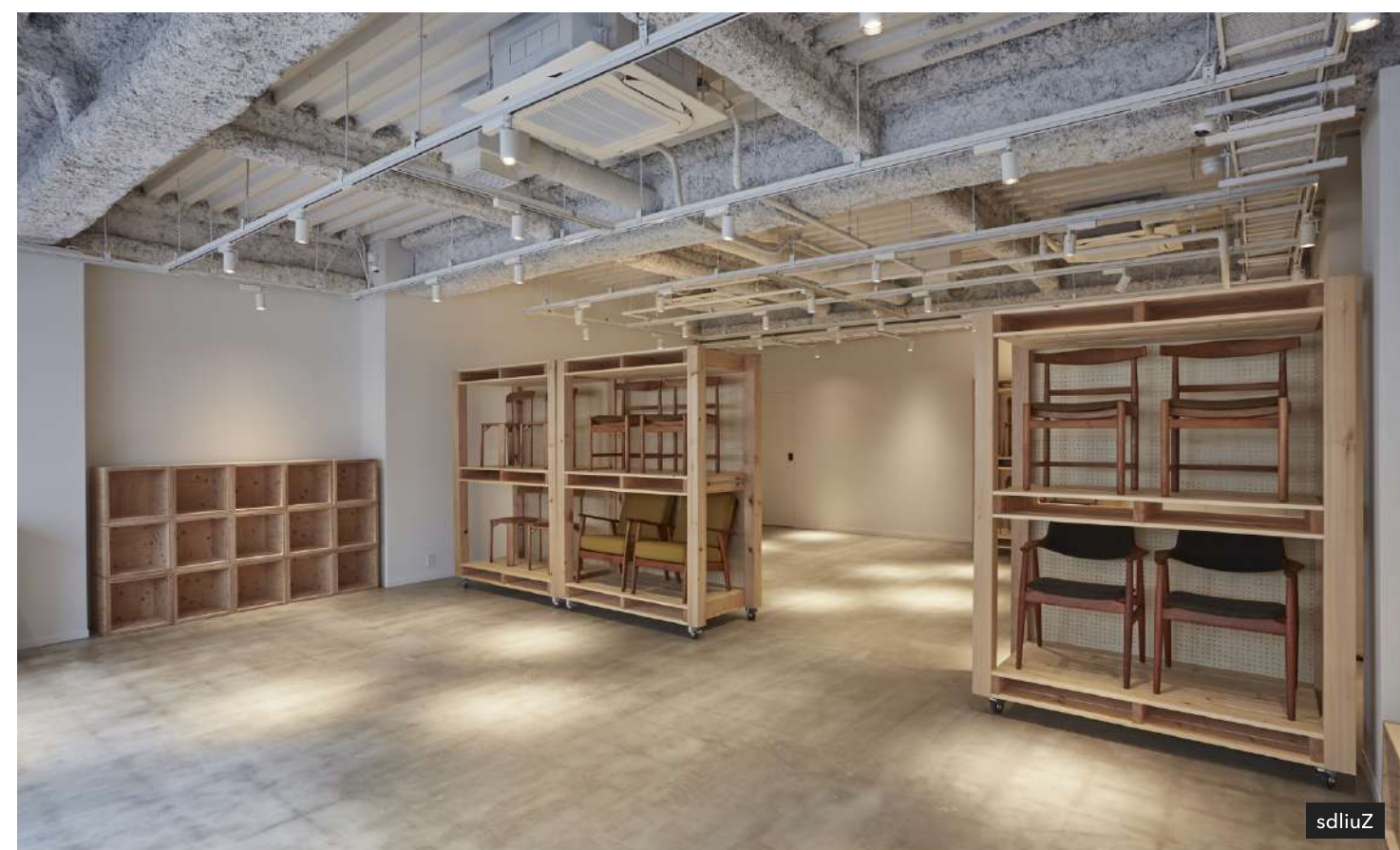
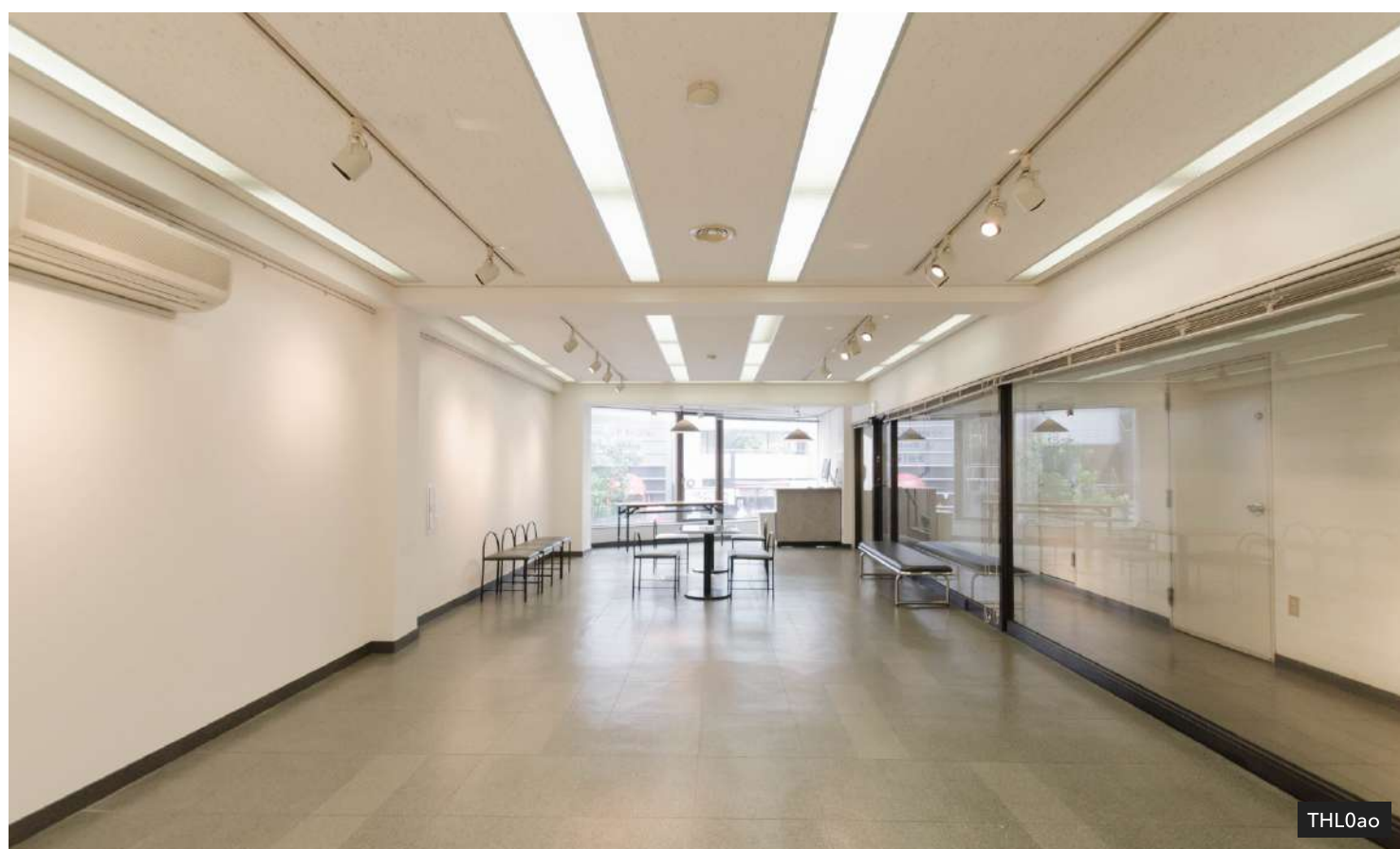
# スペースページ掲載推奨写真

よりスペースを魅力的に見せるために、スペース写真はとても重要な役割を果たします。ここでは、SHOPCOUNTERが推奨する写真の構図をご紹介します。

# 1 内観・内装 推奨写真

4~6枚

一番重要な写真です。中の様子が立体的によくわかるように引き目で撮影することをおすすめします。



## 2 外観 推奨写真

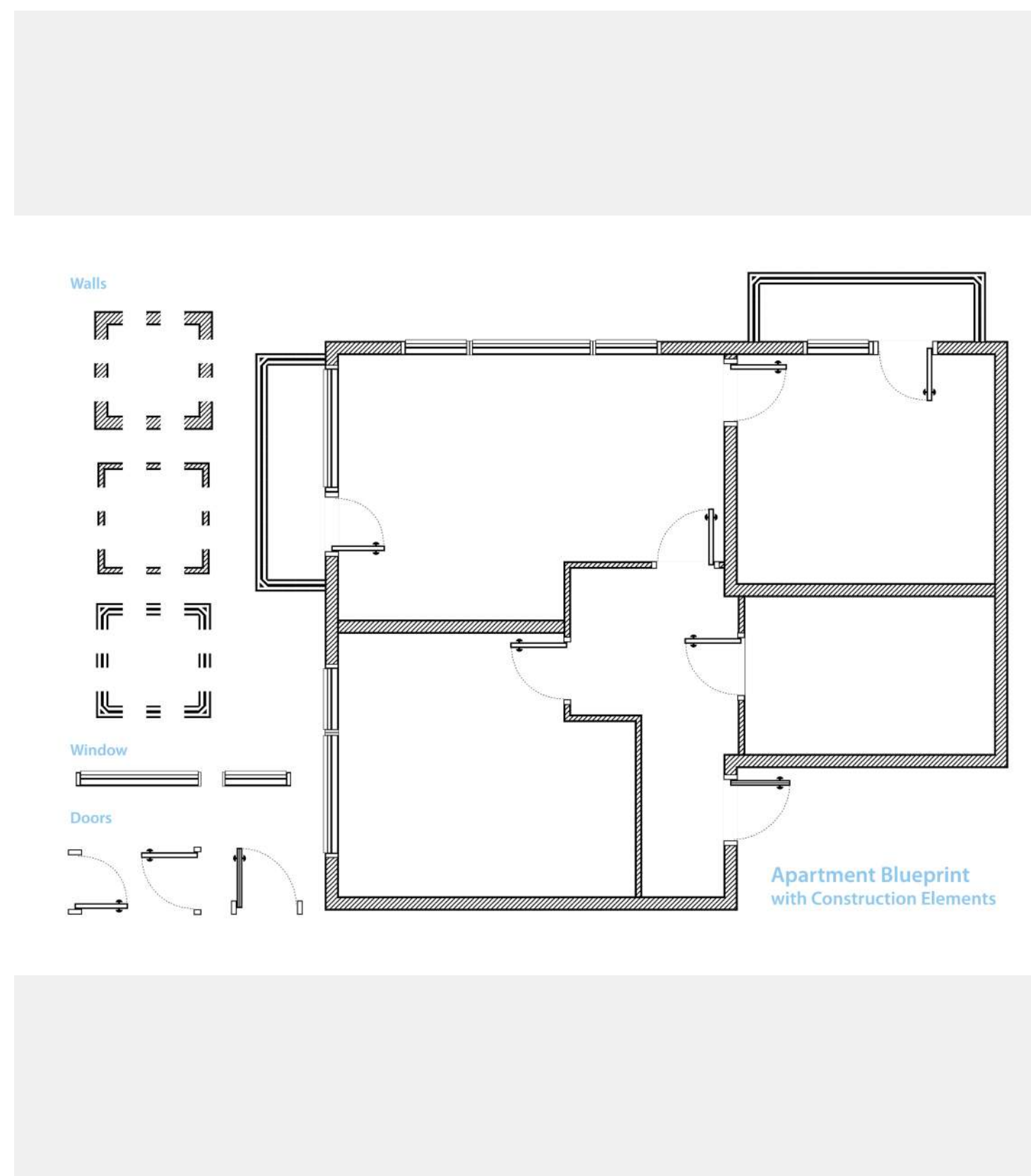
1~2枚

正面からのスペース写真、面している通りが魅力的な場合、通りも含めて撮影しておきましょう。



### 3 什器・図面 推奨写真

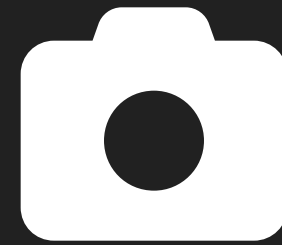
備え付けの設備や貸出できる什器がある場合、什器の写真も撮っておきましょう。図面も広さを把握してもらうために大変重要です。またできるだけ、高さ、横幅、奥行のサイズを測って下記のように画像か、説明文にサイズを記載しましょう。物販やプロモーション利用の場合、什器をレンタルしたい利用者様が多いので、サイズを記載しておくにより親切です。



## 4 利用風景 推奨写真

什器やスペースの使い方のイメージをより明確に持つためには、利用中の写真を掲載するのが良いでしょう。





スマホでもOK!

# 写真撮影のポイント

「写真は大事だとわかっているけど、綺麗に撮る自信がない...」  
そんな方でも大丈夫。これから紹介するポイントを意識して撮影をしていただくことで、写真がグッとよくなります。

## 撮影のポイント1

# ☀️ 日中、晴れの日撮影する

同じスペースでも、光の加減によって陰気なイメージにも明るいイメージにもなります。撮影は自然光がいちばん輝く日中にするのが王道。ただし、まぶしくしすぎた写真はスペースの様子をわからなくしてしまうので気をつけましょう。



## 撮影のポイント2

# 📱 スマホは横向きに

写真は横向きでスペースの様子がより立体的に伝わるようにしましょう。また撮影する時は地面に水平になるように。柱がある場合、地面に柱が垂直かどうかをチェックすることをおすすめします。

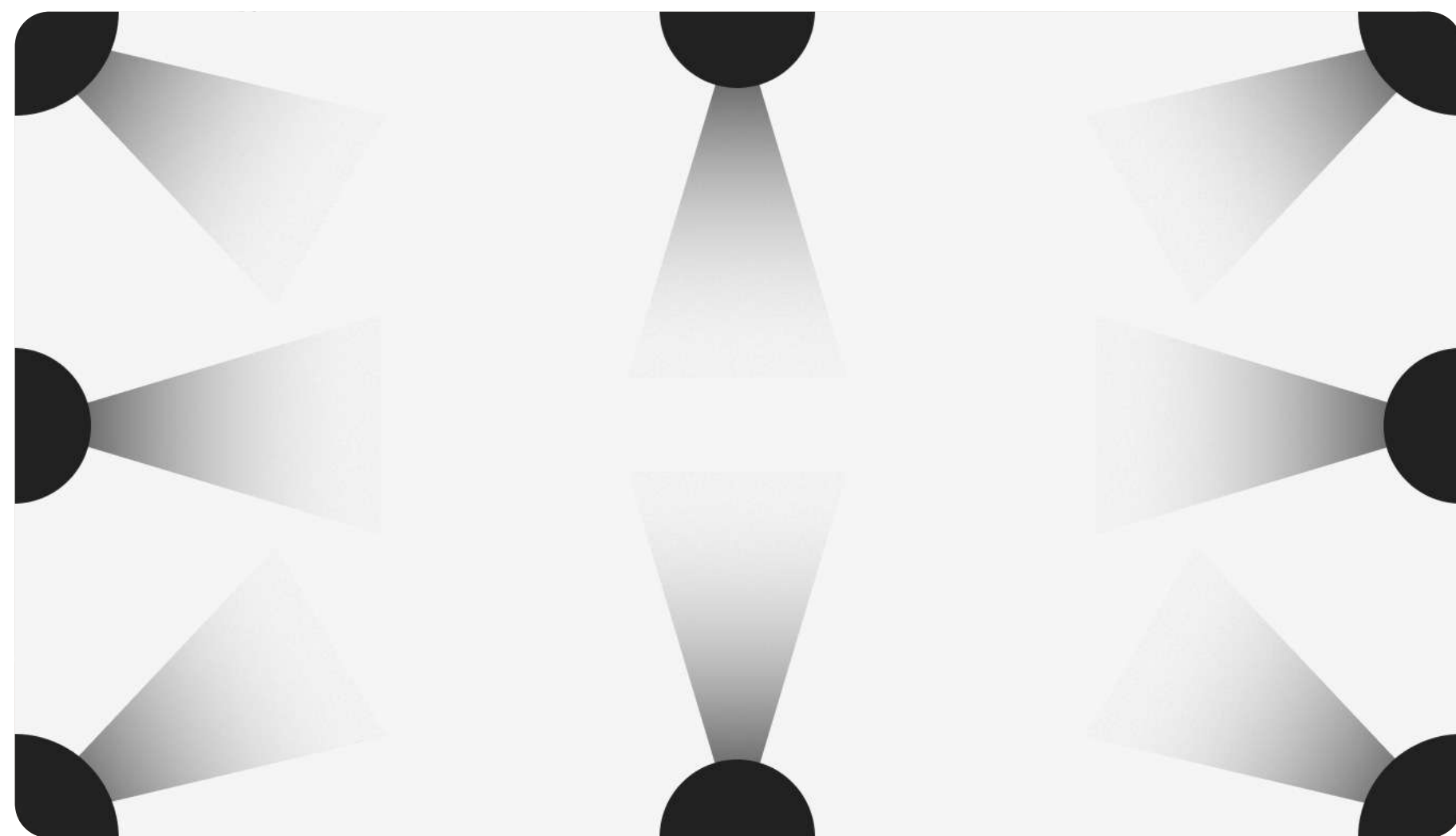




### 撮影のポイント3

## 田 内観は4隅4辺から撮影する

下図のように、内観は4隅4辺の計8箇所から撮っておくのがコツです。あらゆる角度から撮っておくことで、そのスペースにとっての良い角度を見つけることができます。たくさん写真を撮って、後から良い写真をピックアップしましょう。



### 撮影のポイント4

## ✖ 異物が写り込まないように

人は思っている以上に「異物」に注意を向けてしまいます。

「レンズに被った指」「撮影者のバッグ」等、利用者に必要のない情報が写真に入らないようにしましょう。

▼よくない例：スペース内部の様子を伝えたいのに、什器の散らかり・通行人・写真上部に入った黒い棒が気になって内部の様子が伝わっていない。

